

2021/10/5

(オマケの英語教室 eye ) 書庫版



本日白内障の手術日を決めて参りました。両目片方ずつ、二回に分けてです。

実は1年半前にも手術を予約したのですが、コロナ禍が激しくなりいったんキャンセルをしました。

それというのも外国人従業員がまだ育っておらず、コロナ禍で重症化しやすい呼吸器系基礎疾患が二つある自分に手術による感染等何かあればお店を運営できなくなる心配があったからです。

それを今回晴れて手術を頼めるようになったのは、自分がいなくても従業員だけでお店を運営できるレベルに彼らが育ってきたからです。

自分の宣伝はさておき、今日のお題は眼科 eye clinic に因んで eye です。

実は今日待合室で順番待ちをしていた時、ふとある事に気づきました。

「英語は表音文字で単なるアルファベットの連なりだが、この eye という字だけは表意文字といか、具体的な物から字を造形した象形文字なのではなかろうか？」

と。

何のことかと申しますと eye の文字の左右の「e」二つが目で「y」が鼻に見えたからです。詰まり顔の目と鼻にスポットを当てて象形化し、鼻は位置関係を表すだけで、本旨は「e」二つで目を表そうとしたのではなかろうか？という訳です。

他の部位、例えば耳 ear、口 mouth、鼻 nose、等はどう考えても象形化されておませんが、何故か目 eye だけは象形化されていた可能性がある。

しかし何故又？

で、想像したのが古代の外国人（英国か欧州の）にとっても目だけは「特別な存在（位置付け）」だったから、と言うものでした。

Eye catch（目を引く。目に止まる）

Eye contact（目での合図。目配せ）

日本の「目は口ほどに物を言い」という諺を英訳すると

Eye says as much as mouth(saying)

(上記 As the same as より as much as の方がいいような気がしまして)

と実際に云うのかどうかは知りませんが、試してみると恐らく通じるような気がします。

或いはまた

女性が男性の容姿以外に惚れる傾向があるのに対して、男性は洋の東西を問わず女性の容姿に惚れる傾向があることからして、特に男性が言う場合

I love you

は

Eye love you

説明的に申し上げますと

(My eyes love your outlook)

とか。

そんなどうでもいいようなことを考えて居るうちに自分の診察の順番が来たので、お遊びをストップ致しました。

明日は外国人従業員とその家族の第一回目のワクチン接種日。

自分の手術が1年と半。従業員に摂取クーポンが来てから実際に摂取するまで3ヶ月半。

何事も時間が掛かることばかりで御座います。

Eye don't know hidden actual schedule.

(実際の事の運びは目には見えない)

でしょうか。

補足)

上述の2つの英文で eye 単数形の後の動詞は、正しくは三人称単数形で「s」が付きますが、語呂合わせのために敢えて「s」を着けずに表記致しました。ご理解くださいませ。